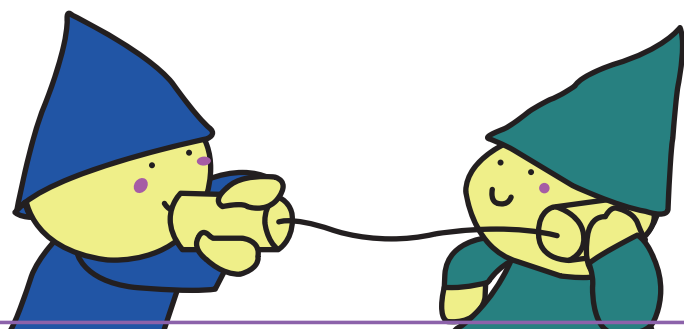




令和 6 年度

研修案内



札幌市幼児教育センター

※研修計画【教員編】は【特別支援学校・学級、通級指導教室担当教員編】【幼稚園教諭・保育教諭編】を兼ねる。

名称				対象	ねらい・内容	教員育成指標との関連											
						学習指導		生徒指導		教育課題への対応	マネジメント						
						授業構築	指導技術	授業評価・改善	子ども理解		人間関係づくり	組織的な対応	特別支援教育に関する専門性	ICT活用指導力	学校づくりへの参画	危機管理	関係機関等との連携
札幌市教育研究推進事業				小・中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期)、特別支援学校(小・中)教職員	「札幌市学校教育の重点」等を踏まえた研究活動を通じて、それぞれの資質の向上・研修に努め、それによって各学校の教育の振興を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教職経験に応じた研修	ステージ１	初任段階における研修 (1年次研修)	市立学校の初任者全員	教職への自覚と使命感を養うとともに、教科等の指導、生徒指導、学級経営等、学校教育の基礎的・基本的な知識・技能の定着及び実践的指導力の向上を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・	・	・	・
		初任段階における研修 (2年次研修)	市立学校の教諭及び養護教諭、市立園の養護教諭で在職期間が1年に達した教諭等		○	○	○	○	○	○	○	○	○	・	・	・	・
		幼稚園初任段階における研修 (含2年次)	幼稚園・認定こども園の新規採用教諭	新規採用教員に対して研修を実施し、実践的指導力と教員としての使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・	・	・	・
		認定こども園新規採用教員研修	認定こども園の新規採用教諭	新規採用教員に対して一年間の研修を実施し、実践的指導力と教員としての使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・	・	・	・
	ステージ２	教職経験者研究協議会Ⅰ (5年)	市立園・学校の教諭等で在職期間が5年に達した教諭等、その他参加を希望する教員	教職経験の比較的浅い教員に対し、日常の教育実践に基づいた教育指導上の課題について研修を行い、指導の充実に資する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・	・	・	・
		保育実践研修	園で、経験1～10年目の教諭等、保育士	保育に関わる諸課題についての実践や事例を通して、日々の実践にすぐに生かせる具体的な内容学ぶ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・	・	・	・
	ステージ３	中堅教諭等資質向上研修	市立園・学校の教諭等で在職期間が10年に達した教諭等(8年及び9年に達した希望教諭等を含む)	個々の能力、適性等に応じて、市立園・学校における教育において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる資質の向上を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		幼児教育モドルリーダー研修 (10年程度以降)	園で、経験10年程度以降の教諭等、保育士	園における中核としてリーダーとなるべく、自己啓発を行い、広い見識と実践的指導力を養う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基本研修	職能に応じた研修	札幌市教育課程研究協議会	公立及び私立の幼稚園等・小中学校等、特別支援学校、市立高等学校、北海道教育大学附属小中学校の管理職及び教職員並びに札幌市教育委員会指導主事	・札幌市の教職員が、札幌市全体の課題や学習指導要領等を踏まえた教育課程の編成、実施の重点について理解を深めるとともに、教育課程の編成、実施に伴う諸課題について研究協議等を行い、札幌市の学校教育の改善、充実を図る。 ・札幌市の教職員が、幼児教育段階から高等学段段階までを見通した教育課程の編成や指導の在り方等についての理解を深め、目標や課題を共有することで、札幌市の学校教育の改善、充実を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		高等学校教育研修会	高等学校、中等教育学校(後期)の校長、副校長、教頭及び教諭	学習指導要領改訂の趣旨や内容の伝達及び教育課程実施上の諸課題について研究協議を行い、指導の充実と適切なカリキュラム・マネジメントに資する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		高等学校教科別研究協議会	高等学校、中等教育学校(後期)の校長、副校長、教頭及び教諭	「札幌市教育振興基本計画」等を踏まえた研究活動を通じて、それぞれの資質の向上・研修に努め、それによって各学校の教育の振興を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		特別支援教育コーディネーター養成研修会	市立園・学校の新任のコーディネーター	コーディネーターの役割や特別な教育的支援を必要とする子どもについての講義を行い、特別支援教育コーディネーターとしての資質の向上に資する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		子ども理解に関わる研修会	市立園・学校の教諭等	教職員一人一人が、ゲートキーパーとしての基礎的な素養を身に付け、生徒指導上の諸問題に対して、保護者や地域、関係機関と連携しながら迅速かつ適切に対応することができるよう、園内・校内体制の充実に資する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		生徒指導研究協議会	市立学校の管理職、主幹教諭、または生徒指導の中核を担う教職員	生徒指導上の諸問題に関する講演・研究協議等を行い、子どもの学びや成長を支える「人間尊重の教育」を基盤とした生徒指導の充実を図るとともに、教職員の指導力の向上に資する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		道徳教育推進教師を対象とした研修	市立学校の道徳教育推進教師	教育活動全体を通じて行う道徳教育の重点や推進すべき方向、道徳教育推進教師の職務に係る内容等について理解を深め、道徳教育の充実を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		部活動指導者研修会	中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の部活動顧問教諭、部活動指導員、特別外部指導者、外部指導者等、体育文化振興会等の事務局担当教諭等	学校部活動の指導に携わる各学校の部活動顧問教諭、部活動指導員、特別外部指導者、外部指導者、体育文化振興会等の事務局担当教諭が、学校教育の一環としての部活動の指導の在り方等について理解を深め、指導者としての資質や指導力の向上に資する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		司書教諭等研修	市立学校の今年度新たに発令された司書教諭及び受講を希望する司書教諭、本研修未受講の司書教諭(学校図書館司書研修と同時に開催)	司書教諭に対し、学校図書館の運営・活用に關する実践的な研修等を実施することにより、実践的能力の向上と学校図書館の一層の充実を図ることを目的とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		現職採用等教員研修会	市立学校に現職採用された教諭等	学校教員として現職採用された教員に対し、札幌市の教育の現状と教育推進の目標等について研修を行い、教育活動の充実に資する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		研究実践園教員研修Ⅰ・Ⅱ	市立園の教員	研究実践園における諸課題について研究協議し、対応できる力を身に付ける。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		研 究 専 門	専門研修	市立園・学校の教諭等	教科・領域等や教育課題に関する専門的な知識や技能の習得により、指導力の向上を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オンデマンドライブラリー	市立園・学校の教諭等		動画視聴形式における教科・領域等や教育課題に関する専門的な知識や技能の習得により、指導力の向上を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他の研修	教員長期社会体験研修	市立学校の教諭(2年以上15年未満)	学校以外の施設等で体験を積み、これを通じて得たものの見方や考え方を学校教育に還元するとともに、教員の資質の向上に資する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	指導相談「先生サポート」	市立園・学校の教諭等	授業等に悩み、課題を感じている教員に対し、個々のニーズに合わせたサポートを行い、指導力の向上を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	幼児教育センター講演会	園長及び教諭、保育教諭、保育士等	幼児教育に携わるものとして視野を広げ、幅広い見識を身に付ける。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	民族教育研修会	市立園・学校の教職員	アイヌ民族の歴史・文化等についての理解を深め、指導力の向上に資する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	指導改善研修	市立園・学校の教諭等	指導が不適切であると認定した教員に対して、能力、適性等に応じた指導を改善する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	教職員派遣研修	市立園・学校の教諭等	学校経営力及び各学校や地域における研修のマネジメントを推進する指導力の向上を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	教職大学院及び大学院派遣研修	市立学校の教諭(2年以上15年未満)	学校教育に関する実践的な教育研究を行うことで、資質の向上と指導力の涵養を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	SAPPORO FUTURE PLAN	本市採用の臨時的任用教員(時間講師を除く)のうち希望する者	教職への自覚と使命感を養うとともに、学校教育における基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、実践的指導力の向上を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

札幌市教員育成指標【幼稚園教諭・保育教諭編】

※「研修計画」については【教員編】に含まれます。

(平成31年2月19日策定)
(令和4年3月1日一部改定)

求める教員像	カテゴリー	ステージ 観点	【養成段階】	ステージ1 【基礎形成期】	ステージ2 【向上・充実期】	ステージ3 【深化・牽引期】
			札幌市が求める教員人生スタート時の姿	幼児理解、保育実践、学級経営等に関する基礎的・基本的な指導力を身に付け、教職としての基礎を固める。	専門性を高め、幼児理解、保育実践、学級経営等に関する実践的指導力の向上を図り、リーダーとしての資質を磨く。	豊富な経験を生かして、全園的な視野に立ち、園づくりの中心的な役割を果たし組織的な運営力を高める。
教育者として、強い使命感・倫理観と子どもへの深い教育的愛情を、常にもち続けている教員	教職の素養	使命感・責任感・倫理観	●教育者として、崇高な使命を深く自覚し、強い責任感や法令遵守の精神、高い倫理観をもっている。			
		情熱・教育的愛情	●札幌を理解し、愛着をもつとともに、教職への誇りと情熱、子どもへの深い教育的愛情をもっている。			
		人間性・コミュニケーション	●豊かな人間性や広い視野、人権尊重の意識をもち、コミュニケーションを図りながら、同僚性を高め、他者との信頼関係を構築している。			
		学び続けようとする意欲	●常に自己研鑽に努め、向上心をもって主体的に学び続けている。			
教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に主体的に取り組む教員	保育実践	保育の構想	幼稚園教育要領等を理解し、各領域を踏まえたねらいや内容を明確にした保育を構想しようとしている。	幼児の興味や関心を生かしながら、各領域を踏まえたねらいや内容を明確に設定し、適切な環境を構成するなどして保育を構想している。	地域や園の特色を生かし、幼児の育ちに応じた各領域を踏まえたねらいを立て、多様な保育を構想している。	地域や園の実態を的確に捉え、多様な保育を実践するとともに、同僚に適切な対応をしている。
		保育技術	幼児期における遊びや活動に関する基本的な保育技術を理解し、実践しようとしている。	効果的な環境の構成や指導方法等の保育技術を、多くの実践を通して学び、身に付けている。	各領域のねらいや内容に応じた計画的な環境の構成や指導の工夫をするなど、確かな保育技術を身に付けている。	豊富な経験から身に付けた確かな保育技術等を生かし保育実践をするとともに、同僚に適切な対応をしている。
		保育実践の評価・改善	保育実践を改善する意義や見直す手だてを理解し、実践しようとしている。	自分の保育実践を適切に見直し、その成果と課題を明確にした上で、次の実践に活かしている。	保育実践を改善する意識を常にもち続け、より効果的な手だてを考え、次の実践に活かしている。	子どもの育ちの状況から保育実践を見つめ直し、自らの実践の改善を図るとともに、同僚に適切な対応をしている。
	幼児指導	幼児理解	幼児理解の大切さを認識し、積極的に向き合おうとしている。	基礎的な知識を身に付け、幼児一人一人の発達の特徴や育ちの状況を理解し、適切に向き合っている。	幼児の発達の特性や育ちの状況を広い視野から捉え、言動や表情から内面を深く理解し、寄り添った対応をしている。	専門性を生かし、その子らしさを大切にするとともに、発達の課題に即した効果的な手だてを講じて、迅速で組織的な対応をしている。
		人間関係づくり	幼児一人一人の言動や表情にしっかり目を向けるとともに、進んで関わろうとしている。	情熱をもって学級経営を行うとともに、幼児同士の関わり合いに目を向けながら、温かい関係を築き、きめ細かく対応している。	幼児同士がよさや持ち味を生かしながら関わり合うなど、ビジョンをもって学年・学級等の運営に当たり、どの子にも適切に対応している。	園全体に肯定的・受容的な関係づくりを広げ、チームとしての機能を高め、適切に対応している。
		組織的な対応	幼児指導の組織的対応の重要性を理解し、実践しようとしている。	家庭との連携を日常的に進め、園内組織を活用し、教職員間で幼児の情報を共有するなど、状況に応じて適切に指導している。	家庭や地域をはじめ、関係機関と連携しながら、園内組織を活用し、状況に応じて適切に課題解決している。	家庭や地域、様々な関係機関と連携して組織体制を整え、迅速かつ適切に課題解決している。
	教育課題への対応	特別支援教育に関する専門性	幼児一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育に関する専門性について理解を深めようとしている。	幼児一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育に関する専門性について、基礎的知識や基本的指導力を身に付けている。	幼児一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育に関する専門性について深く理解し、実践的指導力を身に付けている。	幼児一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育に関する専門性に基づき、組織的な対応の中心的役割を務めている。
		I C T活用指導力	情報モラル・情報セキュリティを正しく理解し、I C Tを適切に活用しようとしている。	保育における、幼児の体験との関連を考慮したI C Tの効果的な活用場面を計画し、実践することができる。	保育における、幼児の体験との関連を考慮したI C Tの効果的な活用方法を開発し、実践することができる。	情報モラル等に関する情報収集を行い、S N S等の有益性や危険性を自覚するとともに、I C Tの効果的な活用方法や情報発信等、同僚に適切な対応をしている。
園・学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員	マネジメント	園づくりへの参画	学級担任・園務等について理解し、実践しようとしている。	教育目標等を踏まえ、学級経営の方針を立て実践している。	学年経営等の組織運営に進んで参画し、教育目標の実現に向けて工夫改善を行っている。	園づくりに牽引役として参画し、園全体の教育活動の活性化や充実を図っている。
		危機管理	危機管理の重要性を理解し、危機を察知して迅速な行動をとろうとしている。	安全・安心に配慮した環境について理解し整備するとともに、事故等の発生時には、速やかに報告等を行い対応している。	危機を予測し、未然防止に向けてリーダーシップを発揮するとともに、チームとして早期発見、早期対応を組織的に行っている。	学校安全に関わる未然防止、再発防止を組織的に推進するとともに、緊急時にはチームの中核として対応している。
		関係機関等との連携	家庭や地域、関係機関や小学校との連携の大切さを理解し、教育活動に活かそうとしている。	それぞれの役割を理解し、家庭や地域、関係機関や小学校と連携・協働して日常の実践を進めている。	家庭や地域、関係機関や小学校と関わりを深め、適切に連携・協働して対応している。	家庭や地域、関係機関や小学校との円滑なネットワークを形成し、連携・協働して対応している。
		教育課題への協働的な対応	教育課題に関心をもち、協働的に行動することの重要性について理解を深めようとしている。	教育課題を把握するとともに、同僚と協働して課題解決に当たるよさを理解し、ともに支え合い実践している。	教育課題の解決に向け、連携の在り方や有効な手だてなどを考え、同僚と協働し、ともに支え合い、効率的かつ適切に対応している。	教育課題の解決に向け、リーダーシップを発揮するとともに、全園的な視野に立ち、一人一人の役割を生かしながら、見直しをもって適切に対応している。

幼児教育センター講演会

幼児教育に携わる者として視野を広げ、幅広い見識を身に付けます。

コース	実施予定日	講座名	予定会場	講師	二次元コード
Y01	9月6日(金) 18:00~20:00	帰国・外国人幼児への指導のポイント ～安心して自己を発揮できる 園生活のために～	ちえりあ 6階 講堂	東洋大学 福祉社会 デザイン学部 教授 内 田 千 春	
		https://x.gd/BP7Su			

保育実践研修

日々の実践にすぐに生かせる具体的な内容を学び、保育の実践力を高めます。

コース	実施予定日	講座名	予定会場	講師	二次元コード
Y02	8月5日(月) 13:30~16:45	<講義・実技> 保育に生かせる運動遊び① ～わらべ歌を通して～	ちえりあ 4階 体育室	認定こども園 おとぎのくに 竹 口 敦 子	
		https://x.gd/M2IUd			
Y03	8月30日(金) 14:30~16:45	<講義・実技> 保育に生かせる造形遊び	ちえりあ 2階 6階 講堂	北海道教育大学札幌校 教授 花 輪 大 輔	
		https://x.gd/mN7fl			
Y04	1月10日(金) 13:30~16:45	<講義・実技> 保育に生かせる運動遊び② ～子どもと考える運動遊び～	ちえりあ 4階 体育室	北翔大学 短期大学部 講師 梅 村 拓 未	
		https://x.gd/wgnnt			
Y05	7月19日(金) より配信	<講義・実技> 子どもの表したいを支える ～描画の発達と指導原理～	動画配信 ※令和5年度 配信と同内容	北海道教育大学札幌校 教授 花 輪 大 輔	
		https://x.gd/P4RUo			

幼児教育ミドルリーダー研修

園における中核としてリーダーとなるべく自己啓発を行い、広い見識と実践的指導力を養います。

コース	実施予定日	講座名	予定会場	講師	二次元コード
Y06 ★	8月7日(水) 9:30~12:15	<講義> 幼児の健康管理	ちえりあ 2階 大研修室	市立太平南小学校 養護教諭 黒 川 有 香	
		https://x.gd/1u4dc			
Y07 ★	7月19日(金) より配信	<講義> 幼児教育施設における危機管理	動画配信 ※令和5年度 配信と同内容	市立真栄小学校 校長 松 澤 晃 二	
		https://x.gd/MAJjp			
Y08 ★	10月17日(木) 14:30~16:45	<講義・演習> 保護者や地域とつながる 幼児教育施設の役割	ちえりあ 6階 講堂	NPO法人子育て支援 かざぐるま代表 山 田 智 子	
		https://x.gd/IJeRU			

★印の講座は中堅教諭等資質向上研修受講者の指定研修を兼ねています。

専門研修

専門研修は、領域や教育課題に関する専門的な知識や技能の習得により、指導力の向上を図ります。

コース	実施予定日	講座名	予定会場	講師	二次元コード
A25★	8月2日(金) 9:30~12:15	＜講義・演習＞ 「遊び」は「学び」 ～幼児期における教育とは～	ちえりあ 6階 講堂	北海道大学大学院 教育学研究院 准教授 川 田 学	
		https://x.gd/gd8zO			
A27★	8月7日(水) 14:30~16:45	＜講義・協議＞ 幼児教育から小学校教育への 円滑な接続のポイント	ちえりあ 6階 講堂	広島大学 名誉教授 朝 倉 淳	
		https://x.gd/ydgR4			
B01★	8月22日(木) 15:00~16:45	＜講義・演習＞ 虐待対応 【幼児期】	ちえりあ 6階 講堂	児童相談所 緊急対応担当課 調査担当係長 小 林 明 弘	
		https://x.gd/Qkx4S			
C05★	7月18日(木) 9:30~12:15	＜公開保育＞ 特別な教育的支援を必要とする 幼児の指導	かつこう 幼稚園	かつこう幼稚園 教諭 山 根 未 奈	
		https://x.gd/od9ro			
C06	10月25日(金) 14:30~16:45	＜講義・演習＞ 障がいの理解と保護者支援 【幼児期】	ちえりあ 6階 講堂	香川大学 教育学部 准教授 松 井 剛 太	
		https://x.gd/AX1fM			

オンデマンドライブラリー

オンデマンドライブラリーは、自身のペースで研修ができるように動画配信となっています。

コース	実施予定日	講座名	予定会場	講師	二次元コード
L13	7月19日(金) より配信	＜講義・演習＞ 食育 ～幼児教育における実践～	動画配信	東区保育・子育て支援センター 栄養士 浅 倉 美 月	
		https://x.gd/uDMXj			
L17★	7月19日(金) より配信	＜講義・演習＞ 乳幼児期の 母子保健・家庭支援	動画配信	手稲区保健福祉部健康・子ども課 保健師 河 本 美奈子	
		https://x.gd/I5Hbj			
L22	7月19日(金) より配信	＜講義・演習＞ 乳幼児期における 子どもの人権	動画配信	藤女子大学 人間生活学部 子ども教育学科 教授 吾 田 富 士 子	
		https://x.gd/MPcOy			

※札幌市教育センター「専門研修」のうち、幼児教育施設対象のものを抜粋しています。

★印の講座は中堅教諭等資質向上研修受講者の指定研修を兼ねています。

令和6年度 幼児教育センター研修受講手続について

受講を希望される研修については、Google フォームでの申込みとなります。以下の手順をご確認の上、お申込みください。

※市立幼稚園教諭は、申込方法が異なります。(Plant 全国教員研修プラットフォームでの申込)

研修の申込は、6月3日（月）からとなります。

【手順1】

研修案内2～3ページ「研修一覧」から、受講を希望する研修を選択し、二次元コードを読み取ります。

講師	二次元コード
認定こども園 おとぎのくに 竹口 敦子	
北海道教育大学札幌校 教授 花輪 大輔	
北翔大学短期大学部 こども学科講師 梅村 拓未	
北海道教育大学札幌校 教授 花輪 大輔	

ここにある二次元コードを読み取ると、Google フォームにつながります。

【手順2】

Google フォームに必要事項を入力し、送信します。複数の受講を申し込む場合は、同じように【手順1】から行ってください。

※園番号・園名は、別添「施設一覧」を確認の上、お間違えのないよう入力してください。尚、「施設一覧」は幼児教育センターホームページからもご覧いただけます。

※受付は申込順に行います。状況によっては定員を定める場合があります。定員に達した場合や変更等につきましては、札幌市幼児教育センターホームページにてお知らせしますので、ご確認ください。

※メールにて研修に係る連絡をすることがあります。随時、ご確認ください。



【問合わせ先 幼児教育担当課 幼児教育企画・研修担当係 TEL：211-3892】

令和 年 月 日

札幌市教育委員会
教職員担当部長 様

※園名（ 区）

※電話番号

※園メールアドレス（私立園のみ記載）

※園（所）長名

研 修 欠 席 等 届

下記の事由により〔 欠席 ・ 遅刻 ・ 早退 〕いたしますのでお届けします。

記

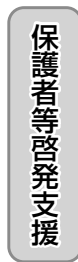
1 講座名	コース	
2 講座日時	令和 年 月 日（ 曜日）	
3 参加者名		
4 事 由		

※この書式は幼児教育センターホームページからダウンロードできます。

【送付先 幼児教育担当課 幼児教育企画・研修担当係

E-mail: youjikyoku@city.sapporo.jp】

市立幼稚園・市立認定こども園(研究実践園)では 研究・研修事業を行っています



～札幌市の幼児教育施設全体の質の高い教育・保育の実現のために～

札幌市立幼稚園・認定こども園では、幼児のよりよい育ちのために日々研究・研修を積み重ね“研究実践園”として、その成果をお便りやHP、地域公開保育等を通して発信しています。

また、札幌市教育委員会では、札幌市の幼児教育を取り巻く状況や特徴、課題を受け、令和2年5月に市立幼稚園の今後の在り方及び札幌市の幼児教育に関する方向性を示す「市立幼稚園の今後の在り方に関する方針」(以下、「方針」という。)を策定しました。研究実践園では、「方針」の基本施策と関連したテーマで研究に取り組んでいます。

5つのテーマの保育実践研究
札幌市の幼児教育を取り巻く状況、特徴、課題から
質の高い幼児教育の実現に向けて
つながる ひろがる 札幌市の幼児教育



家庭教育支援



多様な教育・保育環境 ～長時間保育の実践～



遊びを通した幼児期の学び



特別支援教育



幼保小連携・接続



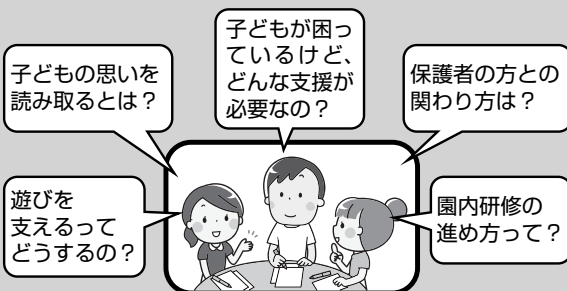
研究テーマ『副主題』	研究実践園			
多様な保育・教育環境 ～長時間保育の実践～ 『多様な教育・保育環境における 幼児期にふさわしい生活のために』	豊) かつこう幼稚園 ☎852-1230		清) 認定こども園にじいろ ☎883-3345	
遊びを通した幼児期の学び 『遊びを通した幼児期の学びとは』	白) きくすいもとまち幼稚園 ☎873-2285		厚) あつべつきた幼稚園 ☎895-0523	
特別支援教育 『一人一人に寄り添い、 共に育ち合う集団づくりのために』	西) はまなす幼稚園 ☎666-9477		手) 手稲中央幼稚園 ☎681-2298	
幼保小連携・接続 『幼保小連携・接続の よりよい推進のために』	北) 白楊幼稚園 ☎736-0764		東) ひがしなえぼ幼稚園 ☎782-8640	
家庭教育支援 『園と家庭が一体となって 子どもの育ちを支えるために』	中) 中央幼稚園 ☎251-6700		南) もいわ幼稚園 ☎571-5850	

※気になるテーマ(副主題)がありましたら、各園のホームページをご覧ください。

研究実践園が 「訪問研修」に 伺います

- ★研修は、1時間のプログラムです。
- ★13:30～16:45の時間帯から1時間を選択してください。
- ★申込み園の事例などを用いて、演習を行うことができます。

市立幼稚園（研究実践園）の教諭が各施設へ訪問し各施設のニーズに応じた園内研修に協力します。



ー 興味のあるテーマは、ありませんか ー

子どもの理解・遊び 子どもの姿を 語り合おう

- 子どもの遊びや生活の様子の写真を使用した演習
- ・この遊びのどんなことを楽しんでいるのか。
- ・育っているところを考えてみよう。



遊びの展開・環境の構成 夢中になって遊ぶ 環境の構成を考えよう

- 子どもの興味や関心を捉え、「やりたい」思いから環境の構成を考える演習
- ・心を動かす体験や、充実感や満足感を得る遊びとは？
- ・発達過程に応じた教材や環境の構成を考えてみよう。



特別支援教育 一人一人に寄り添い、 共に育ち合う集団づくりのために

- 子どもが園生活で困っている場面等の事例を使用した演習
- ・先生が気になることは何か。
- ・子ども自身の困りは何か。
- ・どんな姿に育ってほしいか。
- ・どのような環境の構成や援助ができるか。



特別支援教育 子ども理解と 保護者支援

- 保護者との連携事例等を使用して演習
- ・子どもの様子（どうして〇〇しているのだろう）。
- ・保護者の様子や困り。
- ・先生の願い。
- ・どのような支援が必要か。



興味がある！
活用してみたい！
場合は、こちらまで



申込み問合せ先

札幌市教育委員会 幼児教育担当課 幼児教育企画・研修担当係

TEL: 211-3892

E-mail: youjikyoku@city.sapporo.jp



保育者としての資質向上研修俯瞰図

(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

		Hop	Step	Jump
A	愛されて育つ子ども	A1-I 子どもの理解 (多様な子どもの受容) ○家庭環境、人種、職業等の違いの認識 ○差別的な言葉・表現の理解 (人権を守る保育) ○子どもの人権と権利の理解 ○性差/個性差の認識と共有 (支援を要する保育) ○インクルーシブ・特別支援教育の理解	A1-II 子どもの理解 (多様な子どもの受容) ○家庭環境、人種、職業等の違いの理解 (人権を守る保育) ○子どもの人権と権利の共有 ○子どもの権利条約 (生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利)の理解 ○ハラスメント/ジェンダーの認識 (支援を要する保育) ○インクルーシブ・特別支援教育の共有	A1-III 子どもの理解 (多様な子どもの受容) ○家庭環境、人種、職業等の違いの共有 (人権を守る保育) ○人権教育論の理解と共有 ○子どもの人権と権利の擁護 ○少年法/児童福祉法/発達障害者支援法/家族法/児童憲章等の理解と共有 ○子どもの権利条約 (生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利)の理解と共有 ○ハラスメント/ジェンダー/マイノリティ・共生社会・合理的配慮の共有 (支援を要する保育) ○インクルーシブ・特別支援教育の体制構築
		A2-I 健康的な園生活 ○視診・検診 ○家庭との連絡(既往症と持病、アレルギー)の把握・対応・配慮 ○心身のケア/アタッチメント ○身体測定、健康記録 ○健康衛生指導 ○生活習慣指導 ○健康診断 ○与薬(薬機法) ○就寝管理/呼吸確認(定時・SIDS対応) ○救急法(ケガの対応・心肺蘇生法・AED等) ○エビソド等の記録	A2-II 健康的な園生活 ○食育(栄養管理) ○栄養衛生理論 ○園医等との連携 ○保護者への健康(保健だよりも含む)・栄養指導と支援 ○家庭への生活習慣指導と支援 ○与薬(薬機法) ○エビソド等への対応 ○園医・園歯科医・医療機関との連携 ○愛着(アタッチメント)理論	A2-III 健康的な園生活 ○食環境 ○栄養指導と支援(家庭向け) ○伝染病への対応 ○施設の衛生管理 ○薬品管理 ○子どもの生活環境に対する分析と提言 ○与薬(薬機法)
		A3-I 安全な園生活 ○救急法(ケガ、心臓蘇生法・AED、誤飲・誤食等) ○安全指導、安全管理 ○積極的なヒヤリハットの活用 ○自園の安全管理マニュアルの理解と確認 ○災害・危機管理マニュアル、危険予知・予防(遊具・園庭環境・園外保育・有害動植物等) ○侵入者防衛/対応	A3-II 安全な園生活 ○小児保健(救急含む)、校医との連携 ○災害管理、安全確認(遊具施設、園内環境) ○後輩への安全指導 ○リスクマネジメント ○危機管理マネジメント ―防災計画・訓練(マニュアル)の検証	A3-III 安全な園生活 ○健康管理 ○責任者論 ○リスクマネジメント ○危機管理マネジメント ―防災計画・訓練(マニュアル)の企画・立案・作成・実施 ○重大事故・事件の報告・公表
		A4-I 愛情深い保育 ○心の教育・保育、心・情動に合った保育 ○人間観・子ども観 ○愛されていると感じられる保育 ○安心・安全を感じられる保育 ○自己肯定感・自尊感情の醸成 ○虐待・DV防止	A4-II 愛情深い保育 ○心の教育・保育、心・情動に合った保育 ○人間観・子ども観 ○宗教教育(仏教保育、神教保育、キリスト教保育等) ○愛・感謝・希望を育む保育 ○愛着形成(家庭・地域社会と共有)	A4-III 愛情深い保育 ○愛・感謝・希望を育む保育 ○宗教性を基盤に置いた保育
B	人間性豊かな保育者	B1-I 人間性を磨く (視野の拡大) ○感性を磨く(芸術や美術に触れる) ○社会的活動(地域活動への参加など) ○ボランティア活動 ○積極的に関わりあふ	B1-II 人間性を磨く (視野の拡大) ○異業種体験 ○他園実習研修 ○リフレッシュの重要性を理解する	B1-III 人間性を磨く (視野の拡大) ○海外研修 ○自らへの投資を意識づける ○リフレッシュのタイミングを理解し、提案する
		B2-I 子どもの理解 (育ちの理解) ○幼児期の発達理解 (子ども理解) ○多様な理解があることを知る (子どもを評価する様々な技能や客観化する手法(評価のスケール等)の研修) ○評価方法を知る (公開保育) ○自園で他の保育者の保育を見る ○他園の公開保育に参加し自園との違いを感じる (エピソードの記述) ○語り合いながら、育ちや学びを共有することを知る	B2-II 子どもの理解 (育ちの理解) ○乳児期と児童期の理解 (子ども理解) ○多様な理解をする (子どもを評価する様々な技能や客観化する手法(評価のスケール等)の研修) ○評価を使いこなす (公開保育) ○自園で自分の保育を見てもらい意見をもらう ○他園の公開保育に参加し自園の良さや課題を理解する (エピソードの記述) ○語り合ったり、記録したりすることを知る	B2-III 子どもの理解 (育ちの理解) ○青年期(生涯)の理解/生涯発達心理の理解 (子ども理解) ○多様な理解を提案し、その人らしさを引き出す (子どもを評価する様々な技能や客観化する手法(評価のスケール等)の研修) ○評価方法を考案する (公開保育) ○自園で互いの保育を見合い、園全体で共有する ○自園の保育を他園に公開する ○他園の公開保育に参加し自園と他園をコーディネートする (エピソードの記述) ○エピソードからの多様な読み取りを提案する
	遊びの専門性	B3-I 豊かな遊び (アウトドア体験) ○自然と触れ合い遊び方を知る (プレイパーク、遊び場研修) ○魅力的な遊び場を体験する (生き物と触れ合う(命と触れ合う)体験、自給自足体験) ○生き物と触れ合う(命と触れ合う)体験、自給自足体験 (自分の得意分野を持ち、保育に生かす) 絵画・造形・音楽・運動等の分野とそれ以外の分野 ○得意分野を知る	B3-II 豊かな遊び (アウトドア体験) ○遊びを工夫する (プレイパーク、遊び場研修) ○遊び場を創造する(園内) (生き物と触れ合う(命と触れ合う)体験、自給自足体験) ○生き物の知識などを増やす (自分の得意分野を持ち、保育に生かす) 絵画・造形・音楽・運動等の分野とそれ以外の分野 ○得意分野を磨く	B3-III 豊かな遊び (アウトドア体験) ○遊びを創りだし提案する (プレイパーク、遊び場研修) ○遊び場を再生する(地域) (生き物と触れ合う(命と触れ合う)体験、自給自足体験) ○生き物を生活に取り込む (自分の得意分野を持ち、保育に生かす) 絵画・造形・音楽・運動等の分野とそれ以外の分野 ○園の得意分野を園全体の保育に生かす
		B4-I 社会人としての自覚 (社会人としての姿) ○社会人としてのモラル、ルール、マナーを知る ○自分の仕事を理解し、慣れる ○組織の一員としての自覚を持つ ○クラス担任の仕事を理解する	B4-II 社会人としての自覚 (社会人としての姿) ○積極的にルールやマナーを理解する ○組織の一員として期待される役割を意識する ○自分の仕事の目的・役割を認識する ○学年としての見通しを持つ	B4-III 社会人としての自覚 (社会人としての姿) ○リーダーとしてのモラル、ルール、マナーを知る ○保育者としてのあり方を具体的に明らかにする ○組織の活性化を図る ○仕事の目的・目標を明確化する ○仕事の効率化を図る
	自園の保育の理解と実践	B5-I 自園の保育の理解と実践 (自園理解(建学の精神・園としての持ち味)) ○自園の教育・保育理念を理解する ○自園の教育課程を理解する (日常の保育の点検) ○保育のねらいを理解し意識する ○園のルールを知り、理解する(行事) ○行事の意義を知る	B5-II 自園の保育の理解と実践 (自園理解(建学の精神・園としての持ち味)) ○自園の教育・保育理念の特長を理解する ○教育課程を編成する (日常の保育の点検) ○保育のねらいを点検し見直す ○園のルールを検証し見直す(行事) ○行事を点検・検証し見直す	B5-III 自園の保育の理解と実践 (自園理解(建学の精神・園としての持ち味)) ○自園の教育・保育理念の特長を継承し課題を改善する ○自園の教育・保育理念を編成・明文化する ○教育課程を見直し再編する ○自然環境・遊び場マップをつくる ○子育て講座を実践する (日常の保育の点検) ○意見を集約し再構成する ○保育の目的やルールの意義を評価し見直しを投げかける (行事) ○意見を集約し検証し再構成する
		B6-I 同僚性を高める (人間関係力) ○恐れ、相敬する ○積極的にコミュニケーションを図る ○メンター(助言者)等に協力を求める ○ワークショップに参加する	B6-II 同僚性を磨く (人間関係力) ○指導・助言が相手の立場に立てできる ○リーダーの役割を学ぶ ○メンターを指名する ○メンターの役割を担う	B6-III 同僚性を磨く (人間関係力) ○ワークショップを運営する ○次代のリーダーを育てる
C	保育の歴史や思想を知る	C1-I 歴史と思想 ○現代社会における子どもの問題 ○現代の教育・保育施設の誕生と理念 ○ジャン・ロック、ルソー、ペスタロッツ、フレーベル、デュエー、エレン・ケイ、モンテッソーリ、ニール・シュタイナー、マラグッティ など ○オーベルランの幼児保護所、オーニエンの幼児学校、フレーベルのキンダーガルテン、モンテッソーリの子どもの家、マクミランの保育学校、ニールの自由学校、シュタイナー学校、レジオンエミリア市の幼稚園 ○ヘッドスタート計画	C1-II 歴史と思想 ○社会変化と子どもの状況 ―保育思想の芽生え ○保育制度や乳幼児期教育施設の変遷	C1-III 歴史と思想 ○現代の保育制度と保育理念 ○多層化する保育ニーズ
		C2-I 発達理論 (発達に即した保育) ○保育から見取る身体的・知的発達 ○保育を通して見る発達段階と保育課題 (発達の基礎理論) ○幼児期の育ち 身体の育ち、情動の育ち、言葉の育ち、知的な育ち、友達関係の育ち ○ピアジェ、ピaget、ワロン、エリクソン、ハーヴィー・ガイスト、ボールビ、アインズワース など ○発達のとらえ方、発達段階論、発達の最近接領域、発達遅延、内言語、愛着の形成、「母性的養育の喪失」の問題	C2-II 発達理論 (発達に即した保育) ○応答的に環境にかかわることの意味 ○自我の発達と家族関係の心理 ―愛着の形成とレジリエンス ○子どもの姿と発達理論上の相連の理解 (発達の基礎理論) ○乳児期から児童期の育ち 社会性の育ち、道徳性の育ち、認知機能の育ち、自我・性格の育ち	C2-III 発達理論 (発達に即した保育) ○応答的な人的環境とは ○保育者の心理 ○現代の社会環境での発達の課題 (発達の基礎理論) ○生涯発達の視点 主要な発達理論の理解と乳児期、幼児期、児童・青年期の連続性と その規定要因の理解
	日本の保育制度を知る	C3-I 制度の理解 (保育の歴史) ○我が国の保育施設と保育施設 ―社会の変容と保育施設 ―子育て・保育に関する報道から見える考え方 ―ベビーホテル等の保育環境 (教育・保育制度) ○幼稚園・保育所・こども園・認可外保育施設の違い ○学校と児童福祉施設の違い ―家庭を補充し、発達を援助する ―幼児を保護し、家族を支援する	C3-II 制度の理解 (保育の歴史) ○保育制度の歴史と自園の設立の経緯 (教育・保育制度) ○自園を取り巻く環境と保育制度の関係 ―労働環境・家庭環境と開園時間など ○少子化時代の乳幼児教育施設 ―エンゼルプラン・次世代育成支援法、子ども・子育て支援法などの政策とその意味	C3-III 制度の理解 (保育の歴史) ○創生期の幼児教育施設とその思想的リーダー ○社会情勢の変化に伴う教育施設の変遷と多様化 ―幼稚園・保育所の成り立ち (教育・保育制度) ○保育制度の多様化が生む教育・保育観の違い ―幼稚園・保育所の歴史的経緯 ―児童中心主義と教師(大人)中心主義 ―経験主義の学力観と系統主義の学力観 ○平成元年の幼稚園教育要領改訂の意義 ○発達・保育歴の継続と制度上の課題点 ○現代的課題・保育者・保育団体の役割

D	子どもの育ちも理解	Hop	Step	Jump
		D1-I 育ちの理解(事例研究) ○胎児から誕生までの育ち ○誕生から就学までの育ち ○身近な大人との関係の中での育ち ―基本的信頼感、愛着形成、自我の芽生え、自己主張 ○自己肯定感と自己有能感の獲得 ○子ども同士の関係の中で ―自己発揮、自己抑制、自律の獲得 ―一人遊び～集団遊び、ごっこ遊び ―母子分離、けんか、協同する経験	D1-II 育ちの理解(事例研究) ○認知の発達(育ちの節目の理解) ○協同的学びの展開 ○縦割り保育、異年齢交流を実践する ○目に見えない内面や心情的理解(非認知能力の育ち) ○同僚性を基盤としたチームとしての学び合い	D1-III 育ちの理解(事例研究) ○園の教育・保育理論の確立(リーダーとして) 子ども理解に始まる保育・教育 乳児期の保育と幼児期の教育の一体化(インテグレーション) ○学童期の発達姿(スタートカリキュラムの理解) ○人生の基礎を培う乳幼児期 コミュニケーション力・社会人基礎力・批判的思考力
		D2-I 育ちの記録(取る) ○個人記録 ○保育者目録 ○様々な記録(エピソード、環境図、写真、動画)	D2-II 育ちの記録(利用する) ○日記からエピソード ○保護者との育ちの共有 エピソード、ドキュメンテーション、ポートフォリオ ※写真等の活用 ○肯定的視点による記録 ○集団の記録 ○個別記録の引き継ぎ	D2-III 育ちの記録(生かす) ○エピソードに基づく育ちの検証と記録ができる ○園内研修(ケース会議)を企画する ―子ども理解から始まる教育・保育実践 ○園内研修の実施とファシリテーション ○保育へのフィードバック ○研修の目的を達成する
E	保育実践	D3-I 特別支援教育の理解 ○特別支援とインクルーシブ教育 ○様々な障がいに関する基礎知識(閉症スペクトラム、合理的配慮等) ○特別支援教育の実践基礎	D3-II 特別支援教育の保育実践 ○園内の連携、家庭との連携(家庭支援) ○個別の指導計画	D3-III 特別支援教育の環境整備 ○ケースカンファレンス ○基礎的環境整備 ○個別的教育支援計画 ○小学校、専門機関との連携
		E1-I 自園の教育・保育課程 ○教育・保育課程が目指す理念の理解 ○教育・保育課程を生かした指導計画の作成	E1-II 自園の教育・保育課程 ○教育・保育課程が目指す理念の理解と共有 ○教育・保育課程を生かした指導計画の検証と、保育現場における課題の明確化 ○教育要領、教育・保育要領など自園の教育・保育課程との関連性の理解	E1-III 自園の教育・保育課程 ○自園教育理念の明確化 ○教育要領、教育・保育要領など自園の教育・保育課程との整合性の検証 ○誕生から小学校以降までの育ちを見通した教育・保育課程の編成、解説、共有、見直し ○幼児教育の社会的意義を社会に発信する方策とエビデンス
		E2-I 実践のための知識 (様々な保育形態) ○異年齢混合保育、チーム保育、預かり保育などの理解 (個と集団) ○個と集団の関係性の理解 (年齢に応じたかわり) ○年齢や発達に応じた保育内容やかわりの理解する ○年齢や発達を考慮した学級運営の基礎知識 (遊びの知識と理解) ○伝承遊び、自然とかかわる遊び、新しい遊び (教材の知識と理解、作成) ○各教材の使い方の理解 ○教材の選択、作成 (発達や学びの連続性の保障) ○保育所保育指針等小学校学習指導要領の基本的理解	E2-II 実践のための知識 (様々な保育形態) ○異年齢混合保育、チーム保育、預かり保育などへの柔軟な対応 (個と集団) ○個と集団の関係を生かした学級運営の実践 (年齢に応じたかわり) ○年齢や発達に応じた保育内容やかわりの検証 ○年齢や発達を考慮した学級運営の検証 (遊びの知識と理解) ○遊びの意味と育ちへのつながり ○自然発生的な遊びの重要性 (教材の知識と理解、作成) ○各教材と育ちへのつながりの理解 ○教材の選択、作成、改良 (発達や学びの連続性の保障) ○乳児期の保育や小学校以降の学習へのつながりを意識した保育	E2-III 実践のための知識 (様々な保育形態) ○自園の教育理念に基づく保育形態の選択 ○保育形態への理解を促す解説、価値観の共有 (個と集団) ○個と集団の関係を生かした園の体制づくり (年齢に応じたかわり) ○年齢や発達に応じた保育内容やかわりを、生涯の育ちという観点から検証 (遊びの知識と理解) ○遊びの意味と育ちへのつながりの解説と共有 (教材の知識と理解、作成) ○各教材と育ちへのつながりの解説と共有 ○教材の開発 (発達や学びの連続性の保障) ○乳児期の家庭支援や小学校以降の学習との連続性を意識した基礎的環境整備
F	子どもが育つ家庭や地域	E3-I 計画の立案 (保育の理解と計画) ○心情、意欲、態度の育ちの基本 ○環境を通しての保育の基本 ○遊びを通しての育ちと学びの基本 ○協同的な遊びと学びの基本 (保育案等の作成) ○主体性が生きる保育案の工夫 ○行事の意義の理解 ○特別支援教育における個別指導の理解、計画の作成 ○0、1、2歳児における個別指導の理解、計画の作成	E3-II 計画の立案 (保育の理解と計画) ○遊びや活動が育ちを意欲とした実践 ○環境を通しての保育の実践 ○遊びを通しての育ちと学びの実践 ○協同的な遊びと学びの実践 ○遊びや活動を充実させる時間設定の工夫 (保育案等の作成) ○実践に生きる保育案のあり方と再構築の考察 ○行事の立案 ○特別支援教育を充実させる個別指導計画のあり方 ○0、1、2歳児保育を充実させる個別指導計画のあり方	E3-III 計画の立案 (保育の理解と計画) ○遊びや活動を充実させる時間的な環境づくり ○現場で生じる指導計画や保育案のフォーマット作成 ○指導計画の存在と大切さを社会に発信する方策
		E4-I 環境の構成 ○環境構成の重要な理解 ○自然環境、飼育と栽培、人工的な教材等の基本的な知識と理解 ○魅力的な環境づくりのための技術の習得 ○環境の要としての保育者のあり方 ○子どもと共に環境をつくり出すことの意義 ○コーナー保育などの理解	E4-II 環境の構成 ○環境構成と再構成の重要な理解 ○自然環境、飼育と栽培、人工的な教材等の構成と応用 ○魅力的な環境づくりのための技術の応用 ○環境の要としての保育者のあり方 ○子どもと共に環境をつくり出す方策 ○落ち着ける環境の理解と創出 ○地域資源(自然、文化、人材(伝承行事等))の発見と活用法の創出	E4-III 環境の構成 ○環境の構成と再構成を進めやすい基盤づくり ○環境と保育者、子どもの関係の明確化 ○自然環境、飼育と栽培、人工的な教材等の精査、導入 ○地域資源(自然、文化、人材、伝承行事等)の活用につながる基盤づくり ○環境づくりの技術指導
		E5-I 指導、援助、見守り等の実践 ○子どもに寄り添う共感的な対応 ○子どもに対して使う言葉の精査と非言語の表現(表情、まなざし、身体表現等)の理解 ○具体的な保育技術、実践内容の精査、継承 ○手段としての保育の理解 遊びの伝承と創造の実践 子どもの主体性の尊重 子ども一人一人の違いの理解 個と集団の関係を意識した実践	E5-II 指導、援助、見守り等の実践 ○指導、援助、見守り等の適切な使い分け ○子どもに対して使う言葉や非言語の表現の適切な使い分け ○質の高い保育技術、実践内容の精査、継承 ○手段としての保育の継承 子どもの育ちに生きる遊びの伝承と創造 子どもの主体性を伸ばす実践のあり方 子ども一人一人への適切な対応 一人一人を生かす集団保育のあり方 ○園独自の文化の理解と継承	E5-III 指導、援助、見守り等の実践 ○安心して実践を進められる基盤づくり ○保育技術や実践内容の適切な入れや検証をする仕組みづくり ○保育技術や遊びが継承していく仕組みづくり ○園独自の文化の創造と精査、継承していくための方策と風土づくり
F	子どもが育つ家庭や地域	E6-I 記録 (観察の視点) ○様々な観察の視点の理解と思考 (記録方法) ○様々な記録方法の理解 個人の記録と集団の記録 エピソード記録、記述など (記録の整理と活用) ○記録の整理と活用	E6-II 記録 (観察の視点) ○観察の視点の適切な使い分け (記録方法) ○よりよい記録方法の工夫 (記録の整理と活用) ○記録の整理による共有と活用	E6-III 記録 (観察の視点) ○観察の視点についての指導 (記録方法) ○よりよい記録方法の作成、見直し (記録の整理と活用) ○記録の共有と活用
	子どもが育つ家庭や地域	E7-I 実践の評価 ○評価の意義の理解 自分の実践を客観的に振り返り、課題を発見する手段として ○保育者間のカンファレンスの意義 ○計画、実践への反映の理解と思考	E7-II 実践の評価 ○評価方法の精査と園内での評価結果の共有 ○保育者間のカンファレンスのあり方 ○園の課題の発見と園内での共有 ○計画、実践への適切な反映	E7-III 実践の評価 ○評価結果に基づく社会への発信 ○情報共有ができる関係性の豊かな保育者集団の醸成 ○社会の課題の発見と共有 ○計画、実践に反映できる仕組みづくり
		F1-I 連携の視点 (保・幼・小の連携を学ぶ) ○幼児と児童の交流を知る ○保・幼・小の教職員同士の交流を知る ○小学校のスタートカリキュラムを学ぶ (保護者との連携ができる) ○連絡係の活用方法 ○コミュニケーションの方法を学ぶ ○保護者との懇談会等のあり方を学ぶ (教育相談の方法と実践を知る) ○教育相談の基本的姿勢 ○個別面談の基本的技法 ○カウンセリングマインドを活用した教育相談の理解 (情報発信(メディア)の活用方法を知る) ○便利さと危険性の理解	F1-II 連携の視点 (保・幼・小の連携を理解する) ○幼児と児童の交流の企画 ○保・幼・小の教職員同士の交流を企画 ○接続を見通したカリキュラムを理解する (保護者との連携に努める) ○保護者等発案のための連絡帳 ○コミュニケーション能力を高める ○保護者との懇談会等の運営を学ぶ ○活動情報誌の作成と活用方法 (教育相談の方法と実践を学ぶ) ○教育相談、個別面談の実践 ○カウンセリングマインドを活用した教育相談の理解と実践 (メディアの活用方法を考える) ○Webを活用した情報発信とは ○便利さと危険性の理解	F1-III 連携の視点 (保・幼・小の連携への理解と実践) ○接続を見通した交流の企画・運営 ○保・幼・小の発達や学びの連続性を踏まえたカリキュラムの編成 (保護者との連携を深める) ○保護者との懇談会等の運営を企画する ○保護者情報誌の作成と活用 ○保護者同士の交流の場の提供 ○教育方針、内容理解のための啓発手法 (教育相談の方法と実践を工夫する) ○教育相談の生かし方 ○個別面談の生かし方 ○カウンセリングマインドを活用した教育相談の理解と実践 (メディアの活用方法を発信する) ○Webを活用した情報発信と活用 ○情報発信の活用
F	子どもが育つ家庭や地域	F2-I 子育て家庭の支援 (家庭を支援する必要性の理解) ○預かり保育の取り組み ―教育時間終了後の預かり保育の理解 ―家庭との緊密な連携を図る ―保護者の要請や地域の実態を知る ○子どもと家庭の変容 ―子どもの育ちの変容を理解する ―子育ての変容を理解する ―家庭・家族の変容を知る ―子どもと家庭と家族の変容の関連を理解する ○子どもとよき家庭と共有する ○子どもに寄り添う対応 (特別なニーズを持つ家庭を知る) ○療育環境の理解 ○不適切な対応・虐待への理解と早期発見 ○DV(ドメスティック・バイオレンス)の理解 ○ひとり親家庭への支援 ○子どもの貧困について学ぶ ○自分の育ち(被養育体験)を振り返る	F2-II 子育て家庭の支援 (支援が必要な家庭へのアセスメント) ○預かり保育の保育内容に関する計画 ―幼稚園教育の基本を踏まえた保育内容の計画・実践 ―幼児の生活が豊かなものとする環境を考える ○親の養育観の理解 ○家庭を取り巻く社会環境の理解 ○子育て意識の変容の理解 ○子育ての負担感や不安感への理解 ○子育てと親育ちへの支援のあり方を学ぶ ○未就園児の親子登園の現状を知る (特別なニーズを持つ家庭を学ぶ) ○虐待への理解と対応 ○DVの理解と対応 ○ひとり親家庭への対応 ○子どもの貧困の現状を知る ―格差の拡大―	F2-III 子育て家庭の支援 (アセスメントを活用した支援を検討) ○預かり保育の運営並びに支援 ―園内体制の整備 ―関係機関との連携、協力 ―地域の幼児期の教育のセンターとしての役割 ○子育てと親育ちへの支援 ○0・2歳児の家庭支援のあり方 ○未就園児の親子登園の運営 (特別なニーズを持つ家庭への支援) ○虐待への理解を深める ○虐待への理解と対応 ○DVの理解と対応 ○ひとり親家庭への対応と支援 ○子どもの貧困への支援
		F3-I 社会資源の理解 (身近な社会資源を知る) ○病院、保健所、保健センター、福祉事務所、図書館、子ども館など (専門機関との交流の意義を知る) ○保健師との連携を考える ○児童相談所、療育センター、保健センターの役割を知る (コミュニティ・スクールの取り組みを知る) ○PTA活動・保護者会を理解する ○地域住民の思いやニーズを知る ○運営にあたって様々な取り組みを知る	F3-II 社会資源を知る (専門機関との交流を深める) ○児童相談所、療育センター、保健センターとの交流 ○特別支援教育コーディネーターとの交流について ○民生・児童委員、主任児童委員の役割 ○子育ての相談窓口(保健センター)との意見交換 ○ファミリーサポートセンターの役割と利用方法 (コミュニティ・スクールの実践を学ぶ) ○PTA活動・保護者会の取り組みを学ぶ ○地域住民の思いやニーズを共有する ○先進的な運営の実践を学ぶ ○園や支援組織・団体との連絡調整を学ぶ	F3-III 社会資源を知る (専門機関との連携) ○児童相談所、療育センター、保健センターとの連携について ○特別支援教育コーディネーターの役割と連携について ○民生・児童委員、主任児童委員との連携 ○子育ての相談窓口(保健センター)との意見交換 ○子育て支援センターの役割と連携 (コミュニティ・スクールの運営) ○PTA活動・保護者会を運営する ○地域住民の思いやニーズを共有する ○支援者と園の課題や目指す幼児期の共有を図る ○活動計画を作成し実践に取り組む

幼児教育センター 研修カレンダー

コース	実施日	時間	講座名	会場
C05★	7月18日(木)	9:30～12:15	特別な教育的支援を必要とする幼児の指導	かつこう幼稚園
Y05	7月19日(金) より配信	—	子どもの表したいを支える ～描画の発達と指導原理～	動画配信
Y07★	7月19日(金) より配信	—	幼児教育施設における危機管理	動画配信
L13	7月19日(金) より配信	—	食育 ～幼児教育における実践～	動画配信
L17★	7月19日(金) より配信	—	乳幼児期の母子保健・家庭支援	動画配信
L22	7月19日(金) より配信	—	乳幼児期における子どもの人権	動画配信
A25★	8月2日(金)	9:30～12:15	「遊び」は「学び」 ～幼児期における教育とは～	ちえりあ 講堂
Y02	8月5日(月)	13:30～16:45	保育に生かせる運動遊び① ～わらべ歌を通して～	ちえりあ 体育館
Y06★	8月7日(水)	9:30～12:15	幼児の健康管理	ちえりあ 大研修室
A27★	8月7日(水)	14:30～16:45	幼児教育から小学校教育への円滑な接続のポイント	ちえりあ 講堂
B01★	8月22日(木)	15:00～16:45	虐待対応 【幼児期】	ちえりあ 講堂
Y03	8月30日(金)	14:30～16:45	保育に生かせる造形遊び	ちえりあ 講堂
Y01	9月6日(金)	18:00～20:00	帰国・外国人幼児への指導のポイント ～安心して自己を発揮できる園生活のために～	ちえりあ 講堂
Y08★	10月17日(木)	14:30～16:45	保護者や地域とつながる幼児教育施設の役割	ちえりあ 講堂
C06	10月25日(金)	14:30～16:45	障がいの理解と保護者支援 【幼児期】	ちえりあ 講堂
Y04	1月10日(金)	13:30～16:45	保育に生かせる運動遊び② ～子どもと考える運動遊び～	ちえりあ 体育館

★印の講座は中堅教諭等資質向上研修受講者の指定研修を兼ねています。

札幌市教育委員会

幼児教育担当課（札幌市幼児教育センター）

〒006-0002 札幌市中央区北2条西2丁目15 STV北2条ビル
TEL 011-211-3892 FAX 011-211-3862

